



遣伯使見聞録



IDEB *Indice Desenvolvimento Educacao Basico*

(基礎教育の発達点数)

今、小学五年生(日本の小6)と中学4年生(日本の中3)は、IDEBに向けて必死になって勉強しています。IDEBは、国語と算数のテストの結果、学校の出席率、留年率を集計して点数に表したものです。日本の全国学力状況調査(全国学テ)と大きく違うのは、各学校の点数が公表されることです。IDEBの点数が良い学校は「よい学校」として、子どもも保護者も地域も、教育委員会も他の学校もみんなわかります。5年生は少し疲れて見えました。



⑪ 10月21日(月) ILDA CAMPANO SANTINI 学校訪問(全日制) ⇔ 栄小学校

【校長先生の話】

IDEBの点数をあげて、もっとよい学校にしたい。5年生は午後からIDEBに向けて少人数指導を行っている。親にもっと勉強を見てもらうために「本読みカード」をやっている。高学年が本読みした物語を低学年に読み聞かせをしてあげている。宿題は午後学校でやり、金曜日だけ家庭でやる。



★先生も子どももIDEBに必死になっているのが

伝わってきました。IDEBは二年おきに行われますが、その年の5年生だけ力を入れて指導するのは違うかなと思いました。日本でもやっている「本読みカード」は、親がサインするだけでなく感想まで書くそうです。そして、上手に読めるようになったら低学年の子に聞かせてあげる、それはとてもよい取り組みだと思いました。

⑫ 10月21日(月) JAYME CANET 学校訪問(全日制) ⇔ 新川小学校

【校長先生の話】

新川小学校の「おに」の版画がすばらしい。説明書きをしないと親が「なんでこんな怖いポスターを学校にを貼るんだ!」と言ってきそうなくらい上手!



家庭的に恵まれた子が多く、親の理解もある地域。もっと子どもが安心して安全に過ごせるように校舎を大きくしたいと教育局に要望している。IDEBは基本的な問題から難しい問題までであるから、しっかり勉強しないとできない。1年生のうちから、学校独自のテストを行い、学力をつけている。★心に問題を抱えている子の相談や検査を行ってくれる施設や医者が少なくても一か月はかかるそうです。これは日本と同じだなと思いました。



- バネッサ校長(6年目)
- 児童数 254人 (特別支援 0人)
 - 教員数 21人
 - 学級数 9学級
 - IDEB 8.3

トイレに行ってもいいですか!? ~ナッツコラム~

ブラジルの学校では、授業中子どもが廊下をふらふら歩いているよ。授業中、トイレに行ったり、水を飲みに行ったりするのは自由!先生も何も言わない。「だって、おしっこに行きたいんだから!」「だって、のどが乾いたもん!」っていうことだね。日本でお決まりの「先生、トイレに行ってもいいですか?」というフレーズは聞かれません。日本では、おしっこは休み時間に行っておくもの!授業中廊下を歩いているなんてよくないこと!っていう考え方があるもんね。

ナッツは担任のころ、子どもがそう言ってくると「だったら、先生がダメって言ったらどうする?」「じゃあ、我慢する」「うそ、行っていいよ」なんてやり取りしてたね。(ナッツの腕時計より)



ある私立の学校には、悲しくなってトイレに駆け込む生徒のために、トイレの壁に励ましの言葉が書いてありました。